

『ぶどうの木』 7・8月号

7月もずっと暑い日が続いていましたが、8月に入ってもさらなる猛暑が続いています。7月は夏休み前の短い期間でしたが、様子を見て水遊びをしました。年々暑さが厳しくなるため水遊びすら気を付けなければいけなくなってきています。涼しいお遊戯室で思いっきり遊ぶ子供たちは、汗だくです。モンテに集中したり、絵本の部屋で過ごしたり、思い思いに過ごしています。

がんばった1学期熱い夏休みは思い存分家族で過ごしてくださいね。たくさん思い出をつくってください。



夏の預かり



お泊り保育

毎年恒例、年長組の1泊2日のお泊り保育がありました。「自分のことは自分でします。」「お友達と力を合わせて仲良く過ごします。」をモットーに楽しい時間を過ごしました。年長組の子供達がまた1つ大きく成長した2日間でした。



親子のライブラリ



近年、幼少期から正しい性の知識を身につけることの大切さを医師や専門家たちが啓蒙し、徐々に子どもを持つ親たちが「性教育」に関心を持ち始めています。幼いころから自分の「からだ」を知ること、また「プライベートパーツ(口や胸、性器)」を理解し、自分も他人も大切な存在だということを認識することが大切です。著者の遠見才希子医師が自身のお子さんとのエピソードを交え、からだの大切さだけでなく、一人ひとりが大切な存在ということを伝える「いちばん最初に読む「からだ」と「性」の絵本」です。



このえほんには、もうひとつのおはなしがかかれています。

- 主人公の少年のママは、日々、海賊の仲間たちと宝島を目指して航海に出かける。帰宅すると具合が悪そうにぐったりするママ……。日に日に元気がなくなり、食欲も落ちていくが、宝島を見つけた日を境に元気を取り戻していく。一見、たわいないストーリーだが、裏の真のストーリーに気づいたとき、感動が押し寄せてくる。類のない、大人も楽しめる仕掛け絵本。フランスで話題に。